

鏡石町子ども議会開催

※紙面の都合上、内容を要約して掲載しております。

10月19日(水)町役場議会議場で、平成25年度以来2回目の鏡石町子ども議会が開催され、町内の小学6年生10人(一小・8人、二小・2人)が子ども議員として参加しました。
この子ども議会は、広報広聴事業の一環として、小学生にまちづくりについて関心を深めてもらうこと、小学生の意見をまちづくりに反映させることを目的として開催されました。子ども議員の皆さんは、それぞれ町について疑問に思っていること、聞いてみたいことを質問し、それに対して遠藤栄作町長が町の考えを答えました。



二小6年 根本 莉那さん



一小6年1組 眞壁 蓮くん

発を行っていきます。

り、道路・公園などの整備や社会保障、産業振興、教育、消防などに使われました。

再質問—税金を払わない人はいますか。払ってもらいためにどうしていますか。

ごみの分別について
ごみを分別しないで、まとめて出したり、指定日を守らない人たちが多くいます。町民のごみの出し方について、どのような対策をしていますか。

町長—出してはいけないごみに対する「警告シール」やごみステーションへの「ごみの出し方分け方」表示板、「ごみカレンダー」によって、ごみ出しのスケジュールやマナーをお知らせしています。

町民1人ひとりの意識が重要ですので、これからも意識啓

税金について

どうして税金を納めなくてはいけないのですか。また、1年間にどんな種類の税金がいくらくらい集まるのか、どんなことに使われるのか教えてください。

町長—税金によって学校や道路、公園などの整備や、安全を守る消防活動などの費用が賄われています。昨年は、町民税や固定資産税などの5税目で約15億6千万円が集ま



一小6年1組 渡辺 美孔さん

ゴミのポイ捨てについて
鏡石町には環境美化活動がある一方で、たばこや空き缶

のポイ捨てもあります。ポイ捨てを減らすために町の所々にゴミ箱を設置してはどうですか。

町長—現在は、ごみ減量化のため、ごみの持ち帰りをお願いしています。今後も、マナーを守ってもらえるよう働きかけを行っていきます。



一小6年2組 姫路 優花さん

野鳥の被害と共存について
歩道にカラスのふんがあって臭い一方で、カラスの大量死の事件を聞くとかわいそうに思います。野鳥への対策と共存についてお聞きします。

町長—法律でカラスの捕獲は禁止されており、町でも様々な対策をとっています。中々効果的な方法が見つかっていません。これからの情報収集を行って対策を検討していきます。



一小6年2組 添田 剛志くん

町の安全について
カーブミラーや信号機のな

町長—交通安全のためには皆さん1人ひとりの心掛けが大切です。春や夏、年末年始など事故の多い時期に呼びかけを行っており、これらの活動が町民の皆さんへの意識づけに繋がればと思っています。



一小6年3組 小林 礼弥くん

病院について
鏡石町には病院がいくつあります。また、町内には耳鼻科と眼科がないので、病院を増やしてはどうですか。



一小6年4組 古川 快くん

町長—町内には「病院」はなく、「診療施設」が7施設あり、県内で4番目に身近に診療施設が多い自治体です。また、須賀川市、天栄村、玉川村と共同で「公立岩瀬病院」を運営していますので、そちらのご利用をお願いしています。

町の観光PRについて

体験型の宝探しゲーム「コードF16」というイベントが県内で行われていました。町内でも企画してはどうですか。

町長—町でも「コードF16」に参加し観光スポットのPRにつながりましたので、今後の継続を要望していきます。また、町独自に各種のウォーキングイベントも行っていますので、今後のイベントの参考にしたいと思

